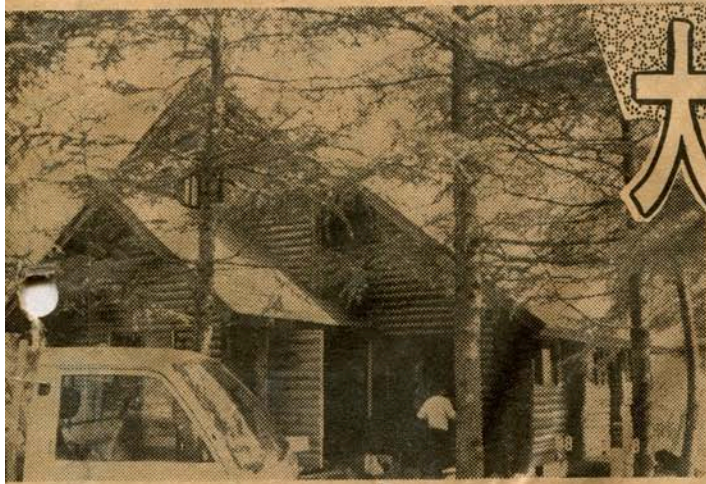


7月2日に最終確認が出来て完成！ 帰山氏と支援者の夢が叶い、「大自然のひろば」が子どもを迎える準備がととのいました。建設期間2年、この後も細かい作業は続きます。



大自然に囲まれて

豊島新聞
63.7.5

『ログハウス』も完成

今は楽しい思い出 悪戦苦闘の二年間

み の り 保 育 園
帰山さん達の努力

自然に触れる機会の少ない

都会の子供たちの教育の場にと

と、社会福祉法人・みのり保育園

園(池袋本町三ノ二十九ノ丸)

の帰山祐子園長らが中心とな

って長野県佐久市円山の山林

に建設している「大自然のひろ

ば」の宿泊施設がこのほど完成

、七月二日に帰山園長ら関係

者が最終チェックし、いよいよ

子供たちを待つだけ

塗料も塗られ、内装もすべて

完了、あとは元気な子供たち

を持つだけのログハウス

となった。

この「大自然のひろば」は

東京から関越自動車道、ルー

ト254号を通って百五十ヤ

南端に京塚山(一、四二三

ノ)がつきでた熔岩台地が二

ノ)にもおおよぶ荒船山を目前に

見、兜岩山(一、三六八ノ)

の懐に抱かれた標高約一、〇

〇ノ)にある。

自然に生息する植物や動物

にまさる教材はなく、大自然

にまさる教育の場はない、と

いうのが帰山園長の持論。そ

の自然の中から子供たち自身

が何かを見つけ、吸収してく

ればと、この「大自然のひろ

ば」を計画、五十九年には

多くの善意の人たちから寄せ

られた基金で土地を購入、六

十一年七月にはこの施設の中

心になるログハウス(二階建

ての六百四十平方)の建設

に着手した。豊島十二団のス

カウトやリターダが主役となり

台風などで倒れた木を隣接地

から購入、みのり保育園の職

員の作った肩当てを肩に、水

を含んでずしりと重い丸太

をかたき上げる。運び上げら

れた丸太の皮むきは子供たち

も手伝った。

静かには高原にチェーンソー

音が響きわたり、つぎつぎと

丸太が組み上がっていく。土

台や屋根はプロにまかせたも

の、ほとんどが素人の手作

りで、仕事の合間を縫って作

業に参加する人、試験体みに

駆け付ける学生など時間のや

りくりり悪戦苦闘の二年間。

今年三月には丸太が組み

上がり、その後、廃材を使っ

ての床張りや階段づくりも順

調に進み、六月二十六日には

完成した風呂に水を張った。

「みなさんのおかげでやっと

子供たちの夢がかないまし

た。この「大自然のひろば」

で子供たちはいろんな植物や

動物に接して、生命の大切さ

や愛を自ら学び取ってくれる

でしよう」と帰山園長は目を

輝かせている。

八月十日から十四日にはボ

ーイスカウト六十人が参加し

てのキャンプが予定されてい

る。